

はもいあ

「はもいあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2017年12月発行

早いもので今年も最後の月になりました。「来年のことを言うと鬼が笑う」といいますが、2月3日・4日に開催する「はもいあフェスタ」に向けて、はもいあで活動するグループの皆さんとともに、着々と準備を進めています。くしくも2月3日は節分の日、鬼を吹き飛ばす勢いで開催したいと思いますので、どうぞ皆さんお越しください。

ジェンダーギャップ指数 2017 が発表されました!!

日本過去最低の114位(144か国中)

ジェンダー・ギャップ指数とは、各国における男女の格差を図る指数のことで、世界情勢の改善に取り組む国際機関である世界経済フォーラム(1971年創立の非営利財団)が、毎年公表しています。この指数は、「政治分野」「経済分野」「教育分野」「健康分野」の4つの分野の14項目から分析されています。指数の数が1に近いほど平等で、0に近いほど不平等を表しています。

●過去最低記録を更新

日本は、144か国中114位で、年々順位を下げています。(H28:111位、H27:101位)「政治分野」・「経済分野」の格差が大きいことが日本の順位が低い理由として挙げられます。「政治分野」は123位と昨年から20も順位が下がっており、国会議員(129位)や、閣僚(88位)に占める女性の割合が低いことが要因です。また「経済分野」は、昨年よりも4つ順位を上げましたがそれでも114位で、管理職(116位)や専門職(101位)に占める女性の割合、勤労所得の男女比(100位)が順位を下げる要因になっています。

●女性の政治参画

日本の女性議員数は、平成29年11月1日現在で、衆議院議員で47人(10.1%)、参議院議員で50人(20.7%)という現状です。平成29年10月22日に行われた衆議院議員選挙での女性候補者の割合は17.7%と過去最高でしたが、前回に比べ1.1ポイント増に過ぎず、衆議院議員の女性割合も0.8ポイントの増加に留まっています。国は、2020年までに指導的地位の女性割合を30%程度にするという目標や、女性活躍推進を掲げてはいるものの、特に政治分野においては遅々として進まない現状があります。

政治だけでなく、あらゆる分野で、同数に近い男女が関わり、それぞれが個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するためには、男女格差の解消が必要です。

皆さんも身近なところに男女格差がないかを見直し、一つずつ無くして行きましょう。

		順位	指数	女性	男性	女/男
経済		114	0.580	-	-	-
	労働力	79	0.781	66.4	85.0	0.78
	同業種での賃金格差	52	0.672	-	-	0.67
	勤労所得	100	0.524	28,724	54,818	0.52
	管理職	116	0.142	12.4	87.6	0.14
	専門職	101	0.654	39.5	60.5	0.65
教育		74	0.991	-	-	-
	識字率	1	1.000	99.0	99.0	1.00
	初等教育の在学	1	1.000	100.0	100.0	1.00
	中等教育の在学	1	1.000	99.4	98.7	1.01
	高等教育の在学	101	0.926	60.9	65.7	0.93
健康		1	0.980	-	-	-
	新生児	1	0.944	-	-	0.95
	健康寿命	1	1.060	77.2	72.5	1.06
政治		123	0.078	-	-	-
	国会議員	129	0.102	9.3	90.7	0.10
	閣僚	88	0.188	15.8	84.2	0.19
	過去50年の首相の在任年数	69	0.000	0.0	50.0	0.00

報告



四日市市男女共同参画センター “はもりあ四日市”
平成29年度 女性のための自己尊重講座

“3ステップ”で、私を大切にする私になる!

- 1ステップ 9月30日(土)「私は何を考えているのだろう ~自分自身を知る~」
- 2ステップ 10月7日(土)「うまく言葉にできない ~自己表現してみる~」
- 3ステップ 10月14日(土)「自分らしく生きたい~自分も他者も大切に作る生き方を学ぶ~」

石田ユミさん(フェミニストカウンセラー・臨床心理士)を講師に迎えての3回連続講座で、延べ72名の参加があり、託児も延べ18名のお子さんにご利用いただきました。自己紹介から始まり、4つのグループに分かれてのワークも行い、先生からのお話だけではなく、参加者の声を聴きながらの講座でした。毎回の講座のまとめとして、テーマに沿ったポイントを学び、講座最後には、「わたしにあたたかい言葉をかけて」終了しました。

参加者の声

- ★体験型で、全員参加型が良かった。
- ★今まで気付かなかった自分の思い、今ある問題を考えるヒントになりました。一人で考えるのではなく、こういう場で知識や他の方のご意見をきけたのがとても良かったです。3回でなく、もう少し来たかったです。
- ★自分を認める事が出来た。自分を大切にしようと思う。



報告

男女平等教育出前講座 実施中! デートDV予防教育出前講座

四日市市では、男女共同参画の視点を学び、「ありのままの自分」や、「ありのままの他者」を受け入れ、表現することや、多様な生き方を尊重できる力を育むことを目的として、保育園・幼稚園・小学生を対象に、**男女平等教育出前講座**を、中学生、高校生、大学生、教職員、保護者を対象として**デートDV予防教育出前講座**を実施しています。

男女平等教育出前講座

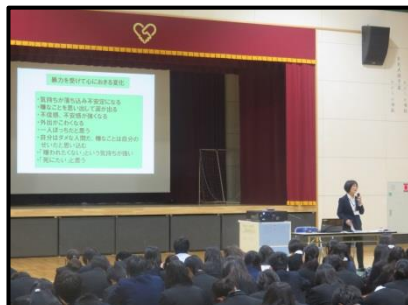
「四日市市人権擁護委員協議会」の皆さんや、今年度より四日市市男女共同参画センター登録グループの「はあぐ」の皆さんを講師に迎え、手遊びや劇などといった様々な手法を用いて、講座を行っています。



講座の様子

デートDV予防教育出前講座

デートDV防止講座の認定ファシリテーターや県内の支援活動団体スタッフの皆さん、「はあぐ」の皆さんを講師に迎え、DVDの上映やロールプレイングなどを取り入れながら、講座を行っています。



講座の様子

現代社会には、未だ「女だから〇〇だ」、「男だから〇〇だ」などのように、性別によって物事を決めつける考え方が根強く残っています。男女共同参画社会の実現には、次代を担う子どもが、学習の段階に応じた内容で、男女共同参画の理念を学ぶことも重要です。性別で物事を決めつけるのではなく、1人ひとりが尊重され、個性と能力を十分発揮できる「**男女共同参画社会**」の実現に向けて、今後も出前講座を継続していきます。

夫婦げんかとはDVの違い わかりますか？

11月16日(木) 13:30から、四日市市総合会館8階第4会議室で、ウィメンズカウンセリング名古屋YWCAの具 ゆりさんを講師にお招きし、「夫婦げんかとはDVの違いわかりますか？」をテーマに講演会を開催しました。講師からは、「DVに対する正しい理解と知識を深め、暴力を認めない・許さないという姿勢が重要である」と話されました。

「夫婦げんかは愛、DVは暴力」

はじめに、今どきの夫婦関係、DV(ドメスティック・バイオレンス)とは何か、DVD視聴(「パパ、ママをぶたないで!」)、なぜDVはなくなるのか、様々な形の暴力、暴力のサイクル等について説明されました。

次に、暴力によりコントロールされる被害者心理、暴力被害による健康・生活への影響、DV被害の実態、DVと児童虐待、若い世代のデートDV等について話されました。

最後に、DV被害者対応と支援の心構え、パートナーとして、家族として、対等で幸せな関係で暮らすための言動、行動等について説明されました。



会場風景

- ＝参加者
- アンケートから＝
- ・夫婦げんかとはDVの違いがよくわかった。
- ・息子夫婦に話をしようと思う。
- ・夫婦関係を見つめ直すのに役にたつ。

今月のキーワード

150万の壁

年末調整の時期になると耳にする配偶者控除が、平成29年度税制改正により、見直しが行われ、平成30年分より配偶者控除及び配偶者特別控除の控除額が改正されることになりました。

配偶者控除といえば、配偶者の収入により納税者が所得税の負担を軽くできる仕組みですが、夫の扶養内で働く妻が収入を103万円までに抑える、いわゆる「103万の壁」という言葉で語られることが多いです。今回の改正をうけ、収入が150万円までは、今まで通りの控除が受けられることになり、新たに「103万の壁」から「150万の壁」になると言われています。

配偶者控除の制度自体に賛否両論あるようですが、今回の改正には、今まで103万円を意識して仕事をセーブしてきた人たちが、意識せずに働くことができる、特に女性が働きやすい環境を作り女性の社会進出を促す目的があるようです。

ただ、収入が増えることによって、自分で保険料や年金を負担することになったり、勤務先によっては家族手当がもらえなくなったりする場合もあるようで、各家庭でメリット、デメリットが違います。

共働きが増えている現代、仕事をする環境は変化しています。それぞれの家庭環境にあわせて、働き方の選択肢が広がっていくといいですね。

男女共同 あい さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点 ★ を通してね。

～男女とも、結婚相手は「人柄」、「家事・育児の能力」を考慮・重視する～

国立社会保障・人口問題研究所は、平成27年に実施した「第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」の結果を今年3月にとりまとめました。その調査結果の中で、「結婚相手に求める条件」に注目しました。

この設問では、結婚する意思のある未婚者が結婚相手に求める条件として、①人柄、②経済力、③職業、④容姿、⑤学歴、⑥家事・育児の能力、⑦自分の仕事への理解、⑧共通の趣味の有無の各項目について、どの程度重視するかを問うものです。

男性で考慮・重視する割合が高いのは、①人柄(95.1%)、⑥家事・育児の能力(92.8%)、⑦自分の仕事への理解(88.2%)、女性では①人柄(98.0%)、⑥家事・育児の能力(96.0%)、②経済力(93.3%)の順となりました。

男女とも「人柄を重視する」というのは、どのような時代でも当然かと思われそうですが、次いで「家事・育児の能力を重視する」というのは、現代の世相を反映しているでしょう。30年程前のバブル景気時に、独身女性が結婚相手に三高(高学歴、高収入、高身長)を求めたのとは、隔世の差を感じます。【家事・育児について反省するH】

登録グループイベント情報

お野菜たっぷりの健康料理教室を開催します！！四日市市食生活改善推進協議会

☆お正月料理☆

日時 平成29年12月13日(水)
9時30分～11時30分
場所 本町プラザ3階 はもりあ四日市調理室
(四日市市本町9-8)
※準備がありますので12月11日(月)までに
事前申込み

☆カルシウムアップ料理☆

日時 平成30年1月17日(水)
9時30分～11時30分
場所 本町プラザ3階 はもりあ四日市調理室
(四日市市本町9-8)
※準備がありますので1月15日(月)までに
事前申込み

対象 興味のある方はどなたでもOK
講師 四日市市食生活改善推進協議会 会員
定員 いずれも各16名(先着順です。定員になり次第締切ります)
参加費 いずれも600円(それぞれ当日集めます)
持ち物 エプロン、三角巾(バンダナ等)、ふきん、台ふきん、筆記用具
お問い合わせ・申込みは

井戸 ☎059-358-3565 中村 ☎059-352-5207 までお願いします



はもりあ四日市からのお知らせ

準備中

「はもりあフェスタ」を開催します

『はもりあフェスタ』の準備が、着々と進んでいます。

今年度は、オープニングでは「共同地区子ども諏訪太鼓」のみなさんによる太鼓演奏、女性たちの起業を応援する「チャレンジショップ」、2日にわたる12の「ワークショップ」、はもりあ四日市の登録グループの「活動パネル展示」、「ランチコーナー」、エンディングでの「パネルディスカッション」と盛りだくさんです。

詳しくは広報「よっかいち」
12月下旬号をご覧ください

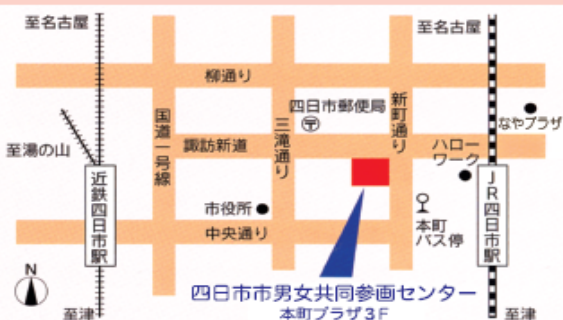
2月3日・4日は「はもりあ」へ来てね

年末年始休館のお知らせ

はもりあ四日市は、12月29日(金)から1月3日(水)まで休館となります。年内は12月28日(木)21時まで開館、年始は1月4日(木)9時から開館いたします。

◎◎◎あとかぎ◎◎◎

12月と言えば、師走と言われるように新年を迎えようとする何かと気ぜわしい候で、イルミネーション、クリスマス、忘年会、紅白歌合戦、年賀状、ボーナス、年末ジャンボ宝くじ、大掃除など、連想されるものも多いです。この時期の私の恒例の仕事として、家族の年賀状印刷、窓ガラス掃除が控えておりますが、年々おっくうになってきました。皆さんはいかがお過ごしですか。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml